



健康診断 のお知らせ



令和7年

10月6日(月) 7日(火) 8日(水) 9日(木)

午前の部【7日(火)～9日(木)】 8:30～11:15

午後の部【6日(月)～9日(木)】 13:30～15:45

(※10月6日は午後の部のみ)

実施会場
近江八幡商工会議所

検査機関(検査の内容に関するお問い合わせはこちら)
一般財団法人 滋賀保健研究センター Tel 077-587-3588

定期健康診断 (定員400名) 1名あたり **7,700円** (税込)
通常価格9,900円(税込)

- * 問診、身長、体重、視力、色覚、血圧、腹囲、各測定
- * 胸部X線撮影 * 内科診察 * 尿検査
- * 心電図検査 * 聴力検査 * 血液検査

生活習慣病健診 (定員180名) 1名あたり **14,700円** (税込)
通常価格19,860円(税込)

- * 上記定期健康診断検査項目
- * 胃部X線撮影 * 眼底検査 * 血液検査 * 大腸検査

【申込方法】

近江八幡商工会議所HP (<https://8cci.com/>) にパソコンからアクセスいただき、
カテゴリ【保険・共済】→【健康診断】 <WEB申込フォームはこちら> より
お申込みください。

※受診料は前払いです。

※5営業日以内にメールにて支払方法、受診日時等をご案内いたします。

申込締切：8月31日(日)

オプション検査のご案内

今年度も定期健康診断と同時に
血液のオプション検査
をご準備致しました！

ガンが気になる
腫瘍マーカーAセット
(CEA、CA19-9
AFP、CYFRA)

特に50歳以
上の男性には
前立腺検査(PSA)

特に女性には
マーカー女性Aセット
(SCC・CA125・CA15-3)

胃がんが気になる方
胃がんリスク
層別化検査



機能別名	項目	臨床的意義	価格
腫瘍マーカー	腫瘍マーカーAセット ※CEA (癌胎児性抗原)	ガンのスクリーニング検査として広く用いられています。主に結腸ガン、胃ガン、膵ガン、肺ガンなどの発見の手がかりとなります。	③Aセット ¥6,200
	※CA19-9	主に膵ガン、胆のう・胆管ガンなどの消化器ガンの発見の手がかりとなります。	
	※AFP	主に肝ガンの腫瘍マーカーとして用いられていますが、肝炎や肝硬変の指標としても用いられます。	
	※CYFRA (シフラ)	主に肺がんのうち扁平上皮がん、腺がんなどの非小細胞がんにて特異性が高く、なかでも扁平上皮がんの早期発見に役立ちます。	
	前立腺検査 ※PSA	前立腺肥大・ガンの検査は血液中のPSA（前立腺特異抗原）の測定により簡単に実施でき、早期発見に役立ちます。（特に50歳以上の男性に有効です）	④前立腺検査 ¥2,000
	マーカー女性Aセット ※SCC	主に子宮頸部、肺、食道等の扁平上皮がんにて高い陽性率を示し、早期発見の手がかりとなります。	⑤女性Aセット ¥4,500
	※CA125	主に卵巣ガンに対して特異性があります。但し、妊娠時や月経期にも一過性に上昇します。（※生理中・妊娠中・産後は数値が上がる為、検査不能です。ご注意ください。）	
胃がんリスク層別化検査 (ABC分類)	※CA15-3	主に進行・再発乳ガンに特異性が高く、乳がん検診における一つの指標として用いられます。	⑥胃がんリスク ¥3,800
	ペプシノゲン検査 (PG-LA)	血液検査で行える、胃がん発生のリスク検診です。胃粘膜の萎縮マーカーであるペプシノゲンと、胃がんとの関係が強いといわれているヘリコバクターピロリ菌感染検査を併用し、胃がんリスクに応じて4群（ABCD分類）に分類し、胃がんリスクを判定する検査です。※	
	ヘリコバクター ピロリ菌 (抗H・ピロリ抗体)	【ペプシノゲン】血液中に微量に存在するペプシノゲンという蛋白質を測定し、胃粘膜の萎縮度合を検査します。萎縮度合の高い人は、胃ガンになりやすいといわれています。 【ヘリコバクターピロリ菌】日本人の50歳以上の70～80%がピロリ菌に感染しているといわれています。ピロリ菌が胃壁に取り付くと、胃炎や消化性潰瘍を発症させる要因となります。	胃がんリスク層別化検査は専用の検査結果報告書で報告させていただきます。

※ 注意

- ・ 各オプション検査は、**すべてセットでのご受診となります。**
- ・ 各オプション検査は、**定期健康診断・生活習慣病健診と同時でのご受診に限り**ます。
- ・ 表示金額はすべて税込金額です。
- ・ 胃がんリスク層別化検査を受診される場合、胃の手術を受けられた方、治療中の方、ピロリ菌の除去をされた方、自覚症状のある方は、正確に判定されない事があります。